

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:宮城県

1. 事業名	地域女性活躍推進連携事業								
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	○意識改革(性別役割分業の固定的観念の打破) ○地域毎の効果的な施策の実施(都市部及び都市部以外での現状の違い及び意識の差について具体的な把握が必要) ○企業や地域団体等との連携								
4. 事業内容	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」(本体会議・担当者会議)の運営(継続) 県内の経済団体、各種団体、行政等で構成する連携会議において、女性の活躍促進に関する事業について審議や評価を行った。また構成団体内での情報共有・情報交換を行い連携強化につなげるとともに、県内各地での女性活躍関係イベント等への後援を行う。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施(継続) 宮城県独自の企業認証政の認証を受けている企業等を対象としてシンポジウムを実施。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業(継続) 研修受講者をサポーターとして認定し、女性活躍に関する正しい理解の共有と啓発、地域における普及啓発を担うリーダーを育成するための研修及び交流会を実施。 ④ 女性活躍ネットワーク事業(継続) 地域に根ざして女性支援等を行っている、「みやぎの女性活躍促進拠点づくりモデル事業(H29～R1)」で掘り起こしたNPO等6団体のネットワーク化と連携を支援し、男女共同参画を推進するための拠点化を進める。各団体の連携・支援の一環として、県と各団体との主催によるセミナー・研修会等(年3回程度)を開催し、市町村とも連携しながら、県内全域における男女共同参画の普及や女性活躍推進のための気運醸成を図ったもの。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	①「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営(継続) 令和4年度事業の計画審議と併せて、「女性が輝く職場づくり」と題し、東北の未来株式会社代表取締役の講話をオンラインで実施した。 ②「みやぎの女性活躍促進連携会議」自主事業の実施(継続) 感染防止対策を十分に行い、昨年度まで新型コロナウイルスの影響で中止となっていたシンポジウムを開催した。シンポジウムでは、「女性のチカラを活かす企業認証制度」で認証を受けている企業の中で、特に優れた取り組みを行っている企業に対して、知事表彰状を贈呈した。そのほか、「女性活躍地ライブ・ワーク・バランスで企業が、地域が変わる！」(講師 有限会社インフィニティ代表取締役)と題した講演を実施した。 ③「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業(継続) サポーター養成事業については、男女共同参画や女性活躍推進に係る気運醸成の機会とし、県全体の底上げを図るため、男女共同参画基本計画が未策定である自治体(3町)において研修会を行った。また、交流会により、サポーター同士や女性活躍ネットワーク事業の構成団体等との交流や親睦の支援を行うことで、女性活躍推進の更なる醸成が図られた。 ④ 女性活躍ネットワーク事業(継続) みやぎの女性活躍促進拠点モデル事業(H29～R1)の受託団体を始めとした、各地域に根ざして男女共同参画や女性活躍推進に関する活動を行っている団体・組織(以下、拠点)について、拠点間の連携を図るとともに、県と各拠点同士の連携に市町村から共催として協力を得てセミナーを開催し、住民に身近な地元レベルから、男女共同参画や女性活躍推進の県内全域における気運醸成を図られた。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	①事業計画の審議と併せて講話を受講することで、構成団体の女性活躍に係る見聞や知見を深めることができた。 ②2カ年コロナ禍で休止していたシンポジウムは100人以上が集まったイベントとなったが、感染防止対策を十分に行ったことで、クラスター等も発生することなく、無事に開催することができた。 ③オンラインと実地開催のハイブリッドで行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮した。オンラインでの参加も多く、コロナ禍でも安心して参加できる環境の整備ができた。 ④昨年度の事業の引継ぎが各NPOでなされており、各地で滞りなくセミナーを開催することができ、参加者からの感想も好評であった。								
7. 今後の課題	②の自主事業については、企業等からの参加者のほか、一般の方にリーチできるような仕掛けが必要である。SNSをさらに活用した集客の方法や、ネームバリューの高い講師を選定するなど、検討の余地があると考えられる。 ③のサポーター養成事業については、都市部以外の地域では、講演会や研修会などの機会が極端に少ない。このため、「女性活躍推進」に関して見聞きする機会が少なく、そのような意識や考え方が全体的に浸透していない状況である。宮城県では男女共同参画基本計画の策定していない市町村もまだあることから、③の研修会を仙台市以外で実施し、県内全域における底上げを図る必要がある。 都市圏においては、「女性活躍推進」の理解や活動・取組が浸透しているが、地方においては言葉すら浸透していない現状もあり、今後とも重点的に地方において事業を実施することにより、「女性活躍推進」の裾野を広げていきたい。そのためには、個人や企業団体等の「意識改革」が必須であり、コロナ渦にあっても、その啓発のためには継続的な地道な活動が必要である。 ④の「女性活躍ネットワーク事業」は、各団体間、県と各団体との本格的連携の一環として、イベント等を両者の主催により実施し、地域に密着して活動している各拠点との連携により、地域レベルから男女共同参画や女性活躍推進に関する理解普及を図ることができた。ただ、各団体間における、マンパワーや企画運営の経験など、少なからず差異が見受けられるため、連携を深めていくことにより、団体相互の組織力の向上を図っていくことが重要と考える。								
8. 事業の実施体制	「みやぎの女性活躍促進連携会議」構成団体(15団体):(一社)宮城県経営者協会、(公財)せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、NPO法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城労働局、宮城県								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
1	「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営	2(1)	4年度当初予算	4年度当初予算	575,478	288,000		287,478	
2	「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業	2(1)	4年度当初予算	4年度当初予算	2,745,035	1,372,000		1,373,035	
3	女性活躍ネットワーク事業	2(1)	4年度当初予算	4年度当初予算	814,637	407,000		407,637	
	合計				4,135,150	2,067,000	0	2,068,150	
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:宮城県環境生活部共同参画社会推進課 氏名:虎川 誠也 電話番号:022-211-2568 電子メールアドレス:danjyo@pref.miyagi.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-1-1に記載								

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(9)、又は第5から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「3年度当初予算」、「3年度補正予算」、「4年度当初予算」、「4年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「3年度当初予算」、「3年度補正予算」、「4年度当初予算」、「4年度予算(予備費)」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。